

CBW 150シリーズアクセスポイントのWi-Fi 6固有設定

目的

この記事の目的は、Cisco Business 150シリーズアクセスポイントのWi-Fi 6固有の機能について説明することです。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBW150AX | 10.2.2.0
- CBW151AXM | 10.2.2.0

概要

CBW150AXアクセスポイントおよびCBW 151AXMメッシュエクステンダは、シスコの次世代ビジネスワイヤレス製品ラインです。主な新機能/改善は、802.11ax / Wi-Fi 6の実装です。これらの新しいAPは、ネットワークの有効性を高めることによってパフォーマンスを向上させ、より多くのデバイスを管理する能力を提供します。

CBW 15xシリーズデバイスはCBW 14x/240シリーズデバイスと互換性がなく、同じLAN上での共存はサポートされていません。

Wi-Fi 6固有の設定がアクセスポイントのWebユーザインターフェイス(UI)に追加された場所は3つあります。

- WLAN設定
- AP設定
- RF最適化

目次

- [Wi-Fi 6 WLAN設定](#)
- [AP設定](#)
- [動的周波数選択\(DFS\)](#)
- [RF最適化](#)

Wi-Fi 6 WLAN設定

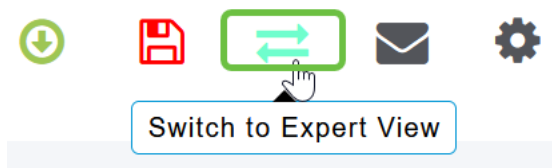
手順 1

CBW150AXのWeb UIにログインします。



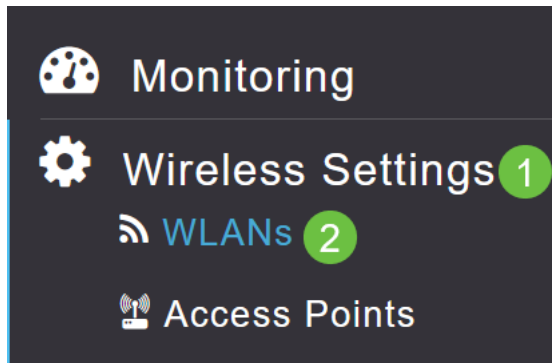
手順 2

緑色の双方向矢印をクリックしてエキスパートビューに切り替えてください。



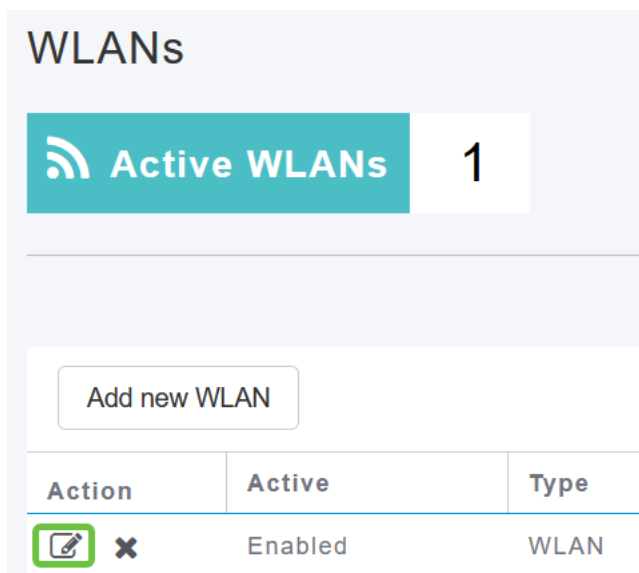
手順 3

[Wireless Settings] > [WLANs] に移動します。



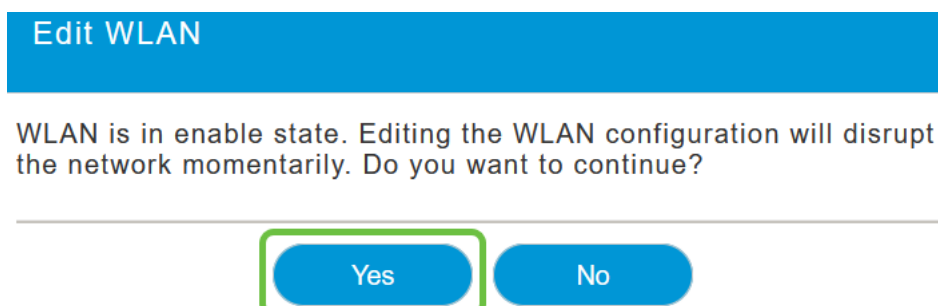
手順 4

WLANを編集するには、鉛筆アイコンをクリックします。



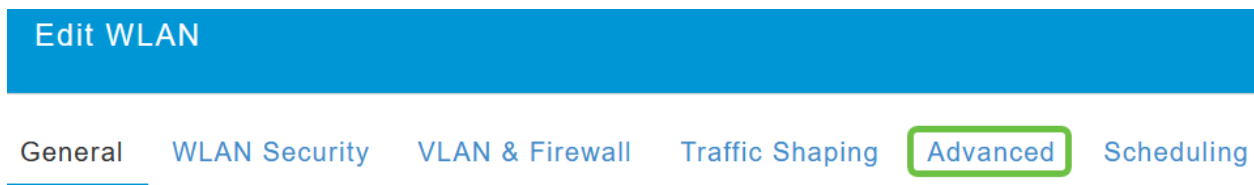
手順 5

ポップアップウィンドウで[Yes] をクリックします。



手順 6

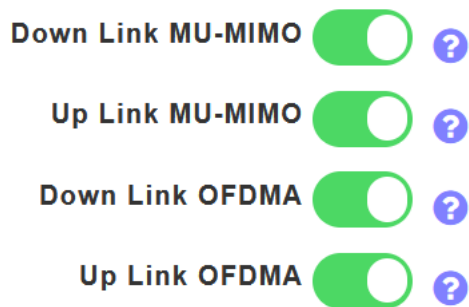
[Advanced] タブまで移動します。



ステップ7

[802.11ax BSS Configuration] セクションで、そのWLANがアップリンクおよびダウンリンクのマルチユーザMultiple Input Multiple Output(MU-MIMO)と直交周波数分割多重接続(OFDMA)をサポートするように設定されているかどうかを確認できます。

802.11ax BSS Configuration



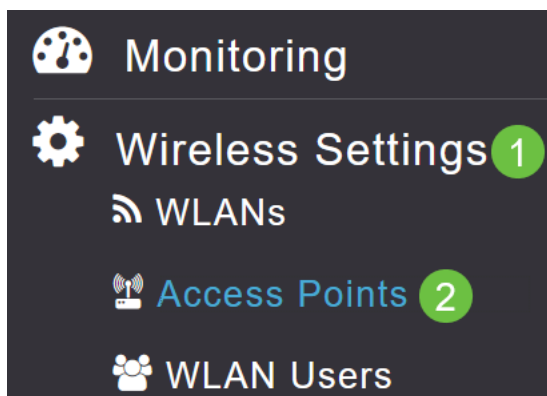
これらはデフォルトで有効になっており、ほとんどの場合はデフォルト値のままにしておきます。

AP設定

また、BSSカラー設定の設定オプションは、各APまたはメッシュエクステンダに基づいて無線単位で提供されます。

手順 1

[Wireless Settings] > [Access Points]に移動します。




手順 2

APを編集するには、鉛筆アイコンをクリックします。



Access Points

 Access Points 1

Q Search

 Primary AP

Refresh

Action	Manage	Type	AP Role
		Primary Capable	Root

手順 3

ポップアップウィンドウで[Yes] をクリックして続行します。

Edit AP

Access Point Radio(s) is in enable state. Editing the AP configuration will disrupt the network momentarily. Do you want to continue?

Yes

No

手順 4

[Radio 1 (2.4 GHz)] または[Radio 2 (5GHz)] に移動して、[BSS Color Configuration]を表示できます。

APF01D-2D9E-0EC4(Active Primary AP)

General

Primary AP

Radio 1 (2.4 GHz)

Radio 2 (5GHz)

Mesh

手順 5

デフォルトでは、[BSS Color Configuration] は[Global] に設定されています。つまり、その無線の BSSカラーが動的に設定されます。

BSS Color Configuration Global



デフォルト設定を使用することをお勧めします。

手順 6

または、[BSS Color Configuration] を[Custom] に設定してから、無線ごとに[BSS Color Status] を有効または無効にし、[BSS Color] を固定値に設定します。

BSS Colorの有効な値は1 ~ 63です。

BSS Color Configuration ? 1

BSS Color Status ? 2

BSS Color ? 3

動的周波数選択(DFS)

DFSは、5 GHz帯域を監視するチャンネル割り当て方式で、Wi-Fiよりも前のテクノロジーからの干渉を検出すると、チャンネルを変更または無効にします。具体的には、軍事レーダー、サテライト通信、気象レーダーを探します。オーバーラップする帯域でこのタイプの信号を検出すると、チャンネル割り当てが[Automatic]に設定されている場合はAPの無線が使用している帯域が変更され、チャンネル割り当てが手動で設定されている場合は帯域が無効になります。

この種の干渉は、空港の近くでのみ発生します。

これらのDFSチャンネルのいずれかを使用していて、5GHz無線がドロップしているように見える場合は、DFSに影響されない帯域を選択します。

APF01D-2D9E-0EC4(Active Primary AP)

1

General Primary AP Radio 1 (2.4 GHz) Radio 2 (5GHz) Mesh

Status ?

Disabling radio may strand Mesh APs connectivity

Channel ? 2

Channel Width ?

Transmit Power (%) ?

Interferer Detection ?

BSS Color Configuration ?

5GHz
802.11a/n/ac/ax

RF最適化

[RF Optimization]メニューで、いくつかのWi-Fi 6オプションをグローバルに設定できます。

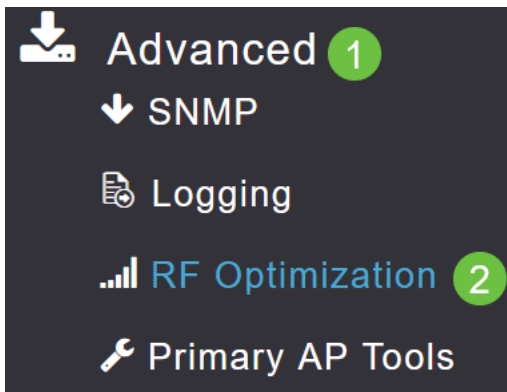
手順 1

APのWeb UIにログインしたら、**Expert View**を有効にします。



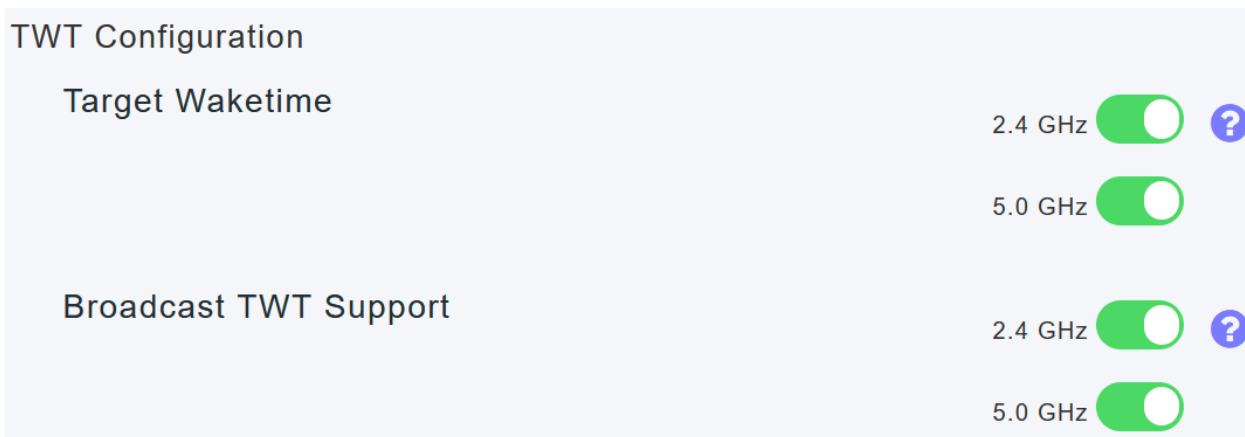
手順 2

[Advanced] > [RF Optimization] に移動します。



手順 3

TWT Configurationでは、Target Waketimeをグローバルで有効または無効にし、Broadcast TWT Supportを無線ごとに有効または無効にすることができます。



手順 4

BSS設定を使用すると、BSSカラーをグローバルに有効または無効にできます。また、検出された隣接アクセスポイントに基づいてカラー割り当てを自動的に変更するようにデバイスを設定できます。

ほとんどの場合、デフォルト設定の[Enabled]を使用することをお勧めします。



結論

これで、Cisco Business 150シリーズアクセスポイントのWi-Fi 6固有の設定についてすべて理解できました。これらの機能を使用して高効率ネットワークを実現するようにAPを設定します。